

モンゴル経済トピック（2010年2月）

今月の主なトピック

- IDA の対モンゴル開発支援融資が3千万米ドルに増額（経済）
- IMF 理事会が対モンゴル2,410万米ドルの追加融資を承認（経済協力）

詳細は各項目を参照

1. 経済

- 5日、デンベレル国家大会議長は、国際通貨基金（IMF）の作業部会のリーダーであるスティーブン・バーネット氏らと会談を行った。同会談でバーネット氏はモンゴル経済に関して、「危機は過ぎ去り、回復段階にある。今年は9%の経済成長が見込まれる。」と述べた。また会談では、国際開発協会（IDA）による対モンゴルの開発支援融資が2千万米ドルから3千万米ドルに増額されるとともに、その内の1,200万米ドルを技術支援に充てられることが決定された。（MM8）
- 10日、国家統計委員会は2010年1月の経済社会指標を発表した。消費者物価指数は前月比2.3%上昇、前年同期比5.7%上昇。財政赤字は654億トグログ。貿易収支は3,150万米ドルの黒字となったが、黒字額は前年同期比で38.1%減少した。（MM8、ZM19）

2. 経済協力

- 国際通貨基金（IMF）理事会は、現在モンゴルで実施されている財政支援プロジェクトに関し、現在のモンゴル経済の状況についての評価を了承し、モンゴルに対する2,410万米ドルの追加融資を承認した。同理事会では、モンゴル経済について、IMF のプロジェクト開始以降モンゴル経済が安定してきていることに加え、オヨートルゴイ金・銅鉱床開発契約を締結したことにより、今後の経済成長の見通しが好転すると思われるものの、今後も引き続き財政収支の均衡化政策を実施するとともに、財政規律の徹底及び柔軟な為替政策が求められる、との評価が下された。（NT3）
- 11日、国家検察庁に対しドイツ技術協力公社（GTZ）が実施している「検察組織の業務運営改善計画」の一環として、情報管理センターの引渡式が行われた。（TR12）
- デンベレル国家大会議長は韓国を訪問し、韓国の鄭雲燦（チョン・ウンチャン）首相と会談した。会談では、タバントルゴイ鉱床開発や農業分野における韓国側との協力について話し合われたほか、2010年に韓国からモンゴルに対し計1,300万米ドルの援助の実施が決定されたことが伝えら

れた。(MT25)

3. 金融

- 国家統計委員会は2010年1月の社会経済指標を発表した中で、国内金融機関の保有する不良債権について、総額4,582億トグログに達し、債権総額の17.1%を占めているとした。(MM8)

4. 貿易等

(特記事項なし。)

5. インフラ

(特記事項なし。)

6. エネルギー

- 現在モンゴルでは、80種類、1,170ヶ所の鉱床が発見され、国のデータベースに登録されている。(UN19)
- 22日、エンフボルド国家大会議安全保障・外交政策常任委員長は、2009年8月に同委員会付属の作業部会がマルダイのウラン鉱床で実施した査察結果について記者会見し、エメールト・マイン社、ウェスタン・プロスペクター社及びアダマス・マインズ社などの所有するウラン開発特別許可を、査察時に判明した違法行為を理由に取り消すべきであると判断した旨を発表した。(MT23)

7. 教育

- オトゴンバヤル教育・文化・科学大臣はドイツのフライベルグ工科大学を訪問し、同省と同大学の間で鉱業エンジニアの養成及び鉱業技術の習得を目的としたプログラムの科学技術大学への導入に関する覚書を交換した。また、モンゴル政府とフライベルグ工科大学による共同奨学金を設立し、同大学に年30～40名のモンゴル人学生を留学させることが決定した。留学プログラムは今年から開始される。(AE5)

8. 農牧業

(特記事項なし。)

9. 保健医療

(特記事項なし。)

10. 環境

(特記事項なし。)

11. 情報通信

(特記事項なし。)

※括弧の中の記号は新聞名と日付を表す。

(US ウドゥリール・ソニン紙、ZM ゾーニー・メデー紙、UN ウヌードウル紙、MM モンゴリン・メデー紙、
TR ウネン紙、AE アルディン・エルフ紙、SH ウンデスニー・ショーダン紙、NT ニーゲミーン・トリ紙、
MP ウグルーニー・ソニン、MT モンツァメ通信)

(了)